

# タッチケア（ふれ愛）教室

タッチケアは、子どもとのコミュニケーション。

さわる・なでる・やさしく語りかけをすることで子どもだけでなく、お母さんもお父さんも子どもに関わる人達みんなが優しい気持ちになります。この教室は、タッチケアを通して子どもと絆を深める幸せなひとときの過ごし方の学びの教室です。

内容：タッチケアのお話（講師 橋本武夫）  
実技指導（センタースタッフ）

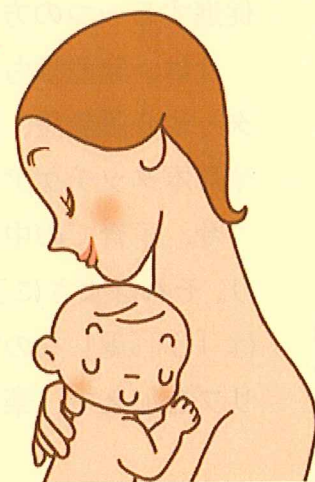
時間：1 時間程度

場所：・どんぐりセンター若楠  
・訪問教室（ご依頼先）

対象：幼稚園、保育園、  
子育てセンター等

人数：10人（組）程度

※すべて予約制です。



## <連絡先>

TEL : 0942 - 83 - 1344 (9:30~14:30 どんぐりセンター若楠)

0942 - 83 - 1228 (それ以外の時間 若楠療育園 佐藤)

E : mail : [wakakusu-jimu@wakakusu-swc.or.jp](mailto:wakakusu-jimu@wakakusu-swc.or.jp)

住 所 : 鳥栖市弥生が丘2丁目134番地1



## タッチケアとは？

タッチケアの“タッチ”とは、単にふれることではなく「ふれ愛」なのです。ふれあうことによって、お互いに癒しあえるのです。具体的には、親子が見つめあい、抱っこしたり、語りかけたり、素肌に触れたり、なでたり、マッサージしたり、手足を曲げ伸ばしするなどの触れ愛がタッチケアなのです。まさに、親子のキャッチボールであり、このふれあいによって、お互いに愛情ホルモン（オキシトシン）が分泌され、親子の絆を深めるのです。

もともと、母子分離されて NICU に入院した小さな赤ちゃんに対して始められたものですが、このタッチケアが、赤ちゃんに育つ力を与え、お母さんにはお母さんらしく育てる力を与えることがわかり、お互いに親子の「ふれ愛」を促進する一つの方法として全国に広がっているのです。

今は、家庭はもちろん保育園、幼稚園、産科、小児科病棟、そして保健センターや介護施設、重心施設、養護施設へと広がり、日本タッチケア協会の設立や日本タッチケア学会にまで発展してきました。

今、子育ての中で求められているのは、愛着形成と群れることの重要性であり、それはまさに子育ての両輪ともいえるでしょう。あらためて、“タッチケア”は「ふれ愛」なのです。さあ一緒に、いつでも、どこでも、どうぞ好きなアドリブを加えて、楽しんでいただきたいと思います。

若楠児童発達支援センター長

日本タッチケア協会会長

橋本 武夫

